

## 宮城県泉高等学校

志教育の 視点	<input checked="" type="checkbox"/> かかわる ・ <input checked="" type="checkbox"/> もとめる ・ <input type="checkbox"/> はたす
------------	--

活動名	地域探究Ⅱ
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	1学年（英語科、普通科）
ねらい	学校がある泉区が抱える地域課題について理解を深め、地域課題の解決のためにできることを、高校生の視点から考えてまとめ、発表する。地域でのフィールドワークを通して、地域との連携を深める。

## 【実践内容】

## [志教育の視点]

将来、地域社会や国際社会に貢献できる人材になるために、学校のある地域の様々な機関と連携しながら、地域課題の解決のために主体的に取り組み、解決案を提案できるような力を身に付ける。

## [活動内容]

## 1 地域で活躍する卒業生からの講話

現在、泉中央駅前地区活性化協議会の会長を務めている本校の卒業生の方に来校いただき、本校生徒に対して、学校がある泉区の現状や課題について講話をしてもらった。講話をとおして、生徒たちは泉区の歴史、現在抱えている課題などについて理解を深めることができた。

## 2 地域の課題分析

各クラスでグループを作り、KJ法などのシンキングツールを使いながら、学校がある泉区での地域課題についてディスカッションを行った。ディスカッションを基に各自で、取り組んでみたい地域課題について調べ、夏休みのフィールドワークの計画を作成した。

## 3 地域のNPOとの連携構築

地域課題解決のためのフィールドワークを実施するにあたり、NPOのまちすぽ仙台と連携し、地域の行政や施設、民間企業などに本校の地域探究活動のことについて周知してもらった。NPOと連携することで、地域課題について情報共有をすることができたり、地域で活動する団体を紹介してもらうことができた。

## 4 地域でのフィールドワーク

夏休みの期間を利用して、1年生全ての生徒が主に学校がある泉区でフィールドワークを行った。以下は、生徒の取組の一例である。

- 駅前の活性化について課題意識を持った生徒のグループは、区役所のまちづくり推進課にインタビューを行った。
- 地域行事の活性化について課題意識を持った生徒のグループは、夏休み中に行われた泉区民ふるさとまつりで、鮎のつかみ取りのボランティア活動や影絵灯籠の飾り付けのボランティアに参加した。
- 子どもの貧困について課題意識をもった生徒のグループは、子ども食堂でのボランティアに応募し、食堂の運営を手伝った。
- 特殊詐欺の被害増加について課題意識を持った生徒のグループは、泉警察署と連携をして、泉中央駅前です特殊詐欺防止を呼びかける活動を行った。

## 5 探究活動のまとめと発表

地域の課題分析と夏休みのフィールドワークの実践とその振り返りをレポートにまとめた。レポートにまとめた内容を各クラスで発表し合い、クラスメートが取り組んだ様々な地域課題について意見交換を行った。地域探究Ⅱを通して、それぞれの生徒が、地域課題の解決のためには、自らアクションを起こすことが重要性であることを認識できたようである。